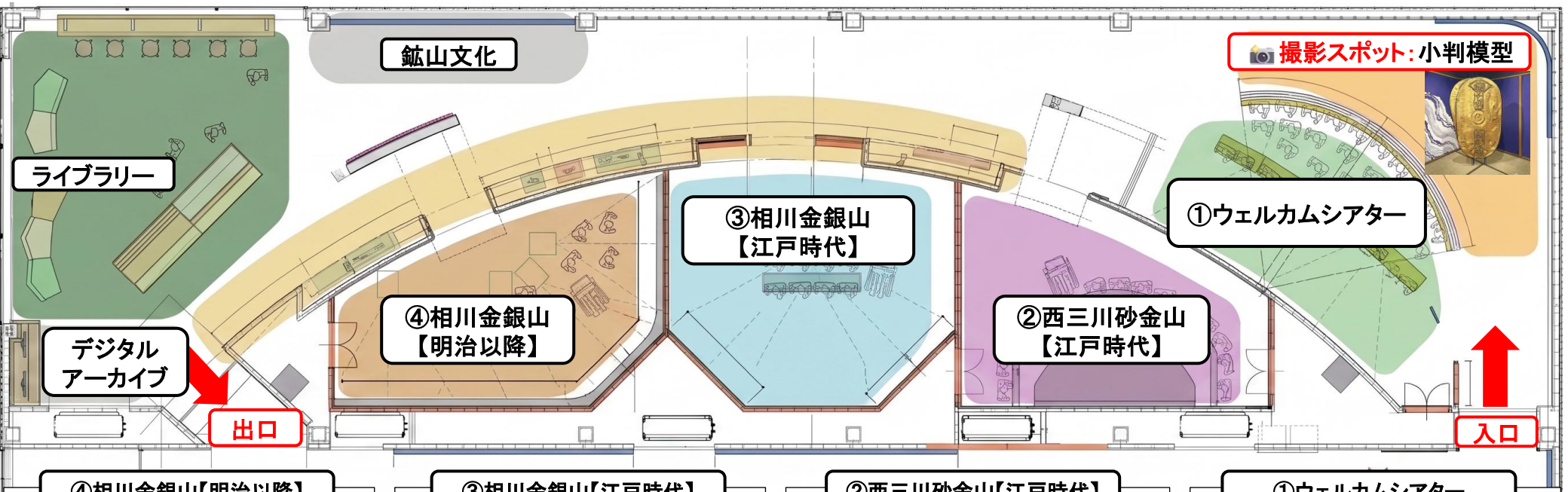
佐渡金銀山遺跡ガイダンス施設

【きらりうむ佐渡　展示室　案内図】

重要ポイント

【1】撮影は📷スポットのみ‼【2】シアターに入ると自動で映像スタート‼



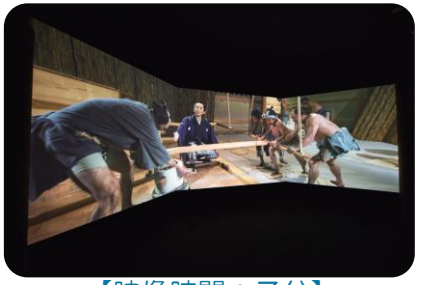
④相川金銀山【明治以降】



【映像時間：４分】

近代に入ると金生産は人から機械へ移り変わっていきました。採掘された鉱石は北沢浮遊選鉱場に集められ、大規模に製錬（精錬）されるようになり、金の回収効率が向上しました。

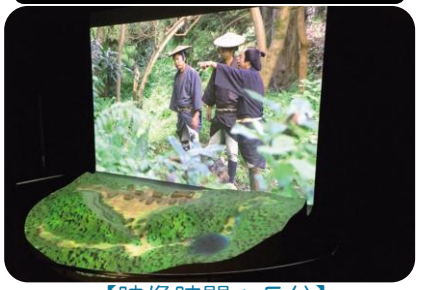
③相川金銀山【江戸時代】



【映像時間：７分】

目に見えないほどに小さな金を含んだ鉱石の採掘から、金を取り出す製錬（精錬）工程、小判の製造までをとおして、**江戸時代の人力による金生産技術の完成形**をご覧ください。

②西三川砂金山【江戸時代】



【映像時間：５分】

砂金を含んだ山の土砂を水路に掘り崩した後、水勢を利用して、土砂を洗い流し、比重の重い砂金を底に沈め、効率的に採取する**「大流し」**という独特な手法が行われました。

①ウェルカムシアター



【映像時間：８分】

こがねの島として知られた佐渡。江戸幕府の直轄地として奉行所が置かれた佐渡に赴任した奉行と島内の金銀山を巡り、**鉱山と共に歩んできた佐渡の歴史と文化**を辿ります。

「佐渡（さど）島の金山」は江戸時代の人力による金生産技術が評価され2024年7月に世界文化遺産に登録されました。